

自分の意識の中に偏見はありませんか？ 差別をしないための点検を！

私たちは、他人の無責任なうわさや憶測を信じたり、人づてに聞いた確かな根拠もない話などをもとに、相手に対して好意的でない感情（偏見）を抱いたりすることがあります。そして、先入観や予断で物事を見たり、考えたりするうちに固定観念として、差別意識（無意識も含む）を持ち、その結果、何らかのきっかけで差別行為（言葉、身振りなど）となつて表れてくる場合があります。

「A型の人は几帳面だ」「女の人は機械に弱い」「最近の中学生はすぐキレル」など一面的に決めつけたイメージ（固定観念）を思い描く人がいるようです。また「世間が言うから」「みんなが言っているから」と安易に同調する人も見聞きします。これらのイメージや安

などの影響を受け、偏ったイメージが形成されていくことがあります。

知らず知らずのうちに自分の中に刷り込まれている偏ったイメージに気づくとともに、「偏ったイメージだけを基にした考えにとらわれた行動をしていないか」と常に点検し、修正する行動力が大切です。

参考・引用

「OSAKA 人権教育ABC」 大阪府教育センター
「『あわ』人権学習ハンドブック」 徳島県教育委員会



市人権推進課(教育庁舎1階)
☎ 32・21122
FAX 33・3525
Mail: jinkensuishin@city.komatsushima.tokushima.jp

市民文芸 花みずき歌壇 (321) 松並敦子・選

振りたての筍携えふるさとの人訪ね来し明るき声に

田浦町 西 照子

《評》古里を離れて久しく、老いて外出もままならない作者にとつては、ふるさとの人と出会えるだけでもうれしいのに、わざわざ「掘りたての筍を携え」「明るい声に」訪ねて来てくれた人々に、どんなにか、なつかしくうれしく感謝し、話も弾んだことだろう。夕餉の食卓に並べられたタケノコ料理の香が漂ってくるようなほのぼのとした作品である。

公園の冬の陽に寝る老猫よなにもすることなきかお前も

ひのみね総合療育センター 関 政明

谷間の雪解け水のせせらぎに少し芽を出す露の蔭あり

中田町 倉橋 正則

「みやげさん」と同僚に言われしわれの血を引きし子か両手に土産を提げて

横須町 三宅 敏恵

戦時中の防空壕掘り田野山に乙女のわれの手豆だらけなり

赤石町 田原トシ子

デイへ共に通った友は一人二人と奥津城へ消えゆきて淋しき

榊瀬町 松下 玉枝

年取りて寒さ乗り切るこの身体 足腰耳と弱みを見せる

坂野町 橋本千代乃

四国より昼間の短い北海道息子らとしやべる時間少なし

小松島町 川人 豊子

まばらなる家を縫いつつデイの車走りて村も共に老いたり

立江町 湯浅かや子

老いわれを苛むごとき温度差に負けじと嫌いなウナギも食へる

江田町 深田 伴子